

2011 年度事業・活動報告に関する件

1. 組織の運営

- ・ 会員は、49 団体（加入 2、脱退 1）、個人 96 名（加入 9、脱退 6）となっています。団体会員、個人会員とも大きな変動はありませんでした。
- ・ 定例理事会を年 5 回開催しました。
 - 6/23：年間事業計画、9/15：中間点検、12/15：今年度まとめ、3/22：次年度計画案
 - 5/17：総会議案
- ・ 団体の事業や計画を執行するという理事会本来の役割を実現できるように理事会メンバーを中心としたプロジェクトを設置し、事業を推進しました。
 - ちばのWA！運営協議会（地域資源循環システム、公益ポータルサイト）
 - 市民参加・協働プロジェクト（休止）
 - 福祉作業所ものづくり応援プロジェクト（事業推進のための会議を 4 回開催、「千葉のいいものカタログ」を編集、発行）
 - NPO 専門家相談ネットワーク（NPO 相談の課題共有、相談対応へのアドバイス、メーリングリストで情報交換）
- ・ 団体の立ち上げ、NPO 法人設立、会計などの相談者には会員加入を促し、継続したサポートを実施しました。
- ・ 事務局は 13 名（四街道市みんなで地域づくりセンター 6 名を含む）の体制で運営しました。業務の拡充にともない 1 月から新規職員を雇用しました。

2. 相談事業・NPO の支援事業

相談事業

- ・ 事務所で日常的に相談を受け付け、「会計」「事業報告書の作成」「活動団体の紹介」「法人の運営」などの相談に対応しました。事務所での相談は 31 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 50 件、年間で 81 件の相談件数となっています。
- ・ 佐倉市市民公益活動サポートセンターの相談会（11/20 の市民活動フェスタの際に実施）で相談対応を行いました。
- ・ NPO 法人会計基準協議会に参加して、柏市で NPO や自治体職員を対象に「NPO 法人会計基準学習会」を 2/13 に開催しました。

講座、講師派遣事業

- ・ NPO 応援講座、会計基準学習会など 11 講座を開催し、参加人数は合計 246 名でした。
- ・ NPO 応援講座を企画運営し、NPO が互いに学びあう場をつくりました。「ツイッター」「事業報告書作成」「NPO の会計」「リスク管理」などを開催しました。
- ・ 2012 年 4 月の NPO 法改正に向けて「改正 NPO 法徹底解説」セミナーや「認定 NPO 法人をめざす NPO のためのよくわかる『新寄付税制』セミナー」などを開催しました。
- ・ 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の被災地、被災者支援の取り組みとして、「陸前高田・避難所管理者からの報告を聞く会」や「東日本大震災ボランティア報告会 被災地、被災者支援 何ができるか、

いっしょに考えよう」を開催しました。

- ・ NPOと行政との協働に関する研修会や団体のマネジメントについての講座の企画、講師派遣を行いました。
- ・ 平成 23 年度千葉県県民活動基盤強化事業（NPO 法人子ども劇場千葉県センター受託実施）で、会計管理、情報開示について専門家派遣の枠組みで協力しました。

3. NPOと地域のためのコーディネート事業

県民活動促進事業（新しい公共支援事業）

民が民を支える仕組み構築モデル事業

- ・ 市原市、袖ヶ浦市、千葉市をモデル地域とし、企業、市民、社協、地縁組織、NPO等をメンバーに運営協議会を設置、資金、人材、物品等の地域資源の循環を進めることを目的に事業実施しました。事業として、NPO向け連続講座の開催、寄付や物品提供等の支援を求める団体の事業プランを掲載した情報誌の編集・発行、企業へのアンケートとヒアリング、企業とNPOとが情報共有する場の設定等を行いました。

寄付促進キャンペーン事業

- ・ 「民からの寄付で地域づくりを支える資金調達」…ファンドレイジングを可能にする受け手への啓発と地域づくりへの参加、寄付を促すことを目的に事業実施しました。事業として、寄付を求める団体の事業プランを掲載した情報誌の編集・発行、寄付獲得のためのノウハウをテーマにしたNPO向け講座の開催、企業とNPOとが情報交換する場の設定等を行いました。

四街道市みんなで地域づくりセンターの運営（地域づくりコーディネーター業務委託事業）

- ・ 四街道市の委託事業として、みんなで地域づくりセンターの運営を行いました。センター事業の企画・実施、センタースタッフの研修を通して、センター機能の充実をすすめました。
- ・ 地域づくりサロン「ワンディシェフの魅力」の開催をもとに「日替わりシェフの店さくらそう」がオープンしました。また、「自治会情報交換会」や「防災講座」を継続開催し、地域の課題解決に向けて、課題共有、情報交換を行いました。
- ・ 新たに「福祉施設紹介・販売フェア大きなテーブル」を6月と11月に開催しました。また、「夏休み小学生ボランティア体験」「子ども記者育成講座」や「ママのためのミクシィ講座」等を開催しています。

地域資源循環システムちばのWA！事業

- ・ 「公益ポータルサイトちばのWA！」の充実をはかるため、「ちばNPO情報館」への登録呼びかけを行いました。「ちばNPO情報館」での情報開示が千葉県県民活動促進事業の支援対象団体の要件となっていたこともあり、登録団体数は95団体となっています。（前年度末55団体）
- ・ 企業、自治体、NPO等をメンバーとする「ちばのWA！運営協議会」を4回開催、財団設立に向けて発展解散し、「一般財団法人ちばのWA地域づくり基金設立準備会」を立ち上げました。11月から3月にかけて設立準備会を4回開催し、財団の事業内容、定款、役員配置などについて協議し、設立準備を進めました。
- ・ 基本財産300万円の確保に向けて、寄付の呼びかけを12月下旬から開始し、169件、4,131,719円

の寄付が得られました。(3/31 現在)

- ・ 千葉県県民活動促進事業の枠組みで、「団体登録サポート会」を9月と2月に開催しました。
- ・ 物品提供システム「NPO三尺店」では企業6社より事務什器、消耗品等の提供を受け、26団体に3495点の引き渡しを行いました。
- ・ アリオ蘇我「学びと遊びの工作クラブ」では、コーディネーターとして係わり、県内の子ども関連、環境関連団体による活動のアピールとして、年間15回開催し、計1,121名の参加がありました。

公益ポータル推進事業

- ・ I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] が主催する「地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト」に参加し、全国の中間支援組織との情報共有、意見交換を行いました。関東ブロック会議を5月に開催し、NPOの団体情報開示の重要性、地域資源の循環を進めるためのネットワークづくりや中間支援NPOの役割等、県域を越えたメンバーで意見交換しました。

福祉作業所ものづくり応援プロジェクト

- ・ 社会福祉法人生活クラブ「地域福祉支援積立金助成事業」の助成金を得て、福祉施設商品の共同ギフトカタログ「千葉のいいものカタログ」3,000部を作成、2月から注文を受け付けました。(3/31 現在実績 63件)

景観フォーラム

- ・ 「景観まちづくり千葉協議会」を継続して開催しました。県との協働事業「景観を大切にしまちづくりフォーラム」をNPO法人小野川と佐原の町並みを考える会の協力で2/19に香取市で開催しました。東日本大震災後の復興の取り組みをテーマに、午前は町歩き、午後はパネルディスカッションを行い、60名を超える参加がありました。

NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

- ・ 地域創造ネットワークちばとの委託契約に基づき、事務局業務を執行しました。
- ・ 2012年度以降、事業年度を4月1日から翌年3月31日までに変更しました。
- ・ 理事会は7/26、9/27、10/25、1/24、3/27に開催しました。第5回総会を11/29に開催しました。
- ・ 情報誌「それ！YAPPE」第10号(自主発行)を企画・編集し10月に25,000部発行、県内公共施設、京成駅頭等で配布しました。
- ・ 農を通じて様々な人たちが出会い、交流し、働きあう「ユニバーサル農業」を広めるために、ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会を継続して開催、5/28に「ちばユニバーサル農業フェスタ雨天中止、残念交流会」、10/29に「ちばユニバーサル農業フェスタ」を開催しました。また「ちばユニバーサル農業ワークショップ」を8/9に佐倉市で、11/8に木更津市で、2/24に千葉市で現地視察も兼ねて開催しました。
- ・ ユニバーサル農業の振興策等について検討する「ユニバーサル農業研究会」を設置、研究会を2回開催、静岡県浜松市の京丸園(株)の視察を行いました。

※「ちばユニバーサル農業フェスタ」「ちばユニバーサル農業ワークショップ」「ユニバーサル農業研究会」事業は、千葉県地域支え合い体制づくり事業補助金を活用しました。

ちばNPO協議会の事務局業務

- ・ ちばNPO協議会の事務局を担い、「NPOの日普及イベント」、「千葉県NPO会議2011」を協議

会幹事団体とともに企画、実施しました。

内閣府地域社会雇用創造事業のランチ事務局業務

- ・ 地域ブロック事務局(印旛・手賀沼環境あつぷ協議会)との契約により、社会的企業の起業やNPOの就労を目指す人のための講座の開催、OJT団体の募集、ビジネスプランの募集等の業務を行いました。

4. 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」(39号～43号)を年5回発行し、会員のほか、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布しました。紙面は、NPOクラブの事業紹介、NPO応援講座のポイント報告、講座案内等で構成し、毎回1,000部(42号は1,500部)発行しました。
- ・ ホームページの更新は適時行い、講座案内や申込み、会員紹介など早めの対応を行いました。
- ・ 掲載する情報を会員から広く募集し、メールマガジン「通信・一步くん」を月2回配信しました。
- ・ 「公益ポータルサイトちばのWA!」、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」、Facebookページを適時更新しました。またツイッターでの情報発信も行いました。

5. ちばのWA!基金「一步くん募金」(市民活動支援基金)

- ・ 2011年度のちばのWA!基金は、「東日本大震災支援金募金」として実施、街頭募金等を行い、寄付総額は654,436円でした。
- ・ 2011年度「一步くん募金」助成は、「東日本大震災支援活動」を対象とし、「ちばのWA!運営協議会」の協議を経て、5団体に総額625,839円の助成を行いました。

6. 他団体との連携・協力事業

- ・ 生活クラブ千葉グループ連絡協議会およびユニバーサル就労ネットワークちばに参画しました。
- ・ 千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参加し、県内19市町村が設置する市民活動支援センターとの連携をすすめました。
- ・ 一般社団法人ユニバーサル志縁社会創造センターの運営に参加しました。
- ・ 国交省の社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会に就任しています。
- ・ 千葉県ITリーダー養成講座の有志をメンバーとする「ICTシェアーズちば」の事務局を担い、Facebook活用講座等の開催や講師依頼に対応しました。
- ・ 千葉県NPO活動推進委員として「千葉県県民活動推進計画」づくりに参画しました。
- ・ 市原市、浦安市、四街道市、栄町、千葉市、山武市、八千代市の委員会等に市民・NPOの立場で関わりました。
- ・ 「東北圏地域づくりコンソーシアム」の依頼を受け、福島県浪江町から千葉県、東京都に避難している町民への取材協力を行いました。作成した原稿は、役場発行の「広報なみえ」に連続掲載されています。
- ・ 東京成徳大学「キャリアデザイン実習」として、8月下旬に3年次学生3名をインターンシップ受け入れしました。